		⑷　油圧ポンプ（駆動装置を含む。） ⑸　油圧モーター ⑹　油圧シリンダー ⑺　方向制御弁 ⑻　電磁弁 ⑼　圧力制御弁 ⑽　流量制御弁 ⑾　逆止め弁 ⑿　オイルクーラー ⒀　アキュムレーター ⒁　回転継手		
1.3.5 操作装置		レバー、ペダル及びスイッチ	レバー等を操作し、ストロークの適否及びがたの有無を調べる。	ストロークが適正で、かつ、著しいがたがないこと。
1.3.6 安全装置	⑴　旋回ロック及び旋回制動装置	a　旋回ロック	①　ロックの効き具合を調べる。	①　効き具合が正常であること。
			②　ロック部の亀裂及び損傷の有無を調べる。	②　亀裂及び損傷がないこと。
			③　油圧によって作動する型式のものは、油漏れの有無並びに油圧ホースのひび割れその他損傷及び劣化の有無を調べる。	③　油漏れ並びに油圧ホースのひび割れその他損傷及び劣化がないこと。
		b　ブレーキ式旋回制動装置	①　ブレーキの作動の適否を調べる。	①　確実に作動すること。
			②　バンド、シュー、ディスク、レバー等の亀裂及び変形の有無を調べる。	②　亀裂及び著しい変形がないこと。
			③　ライニング、ディスク及びパッドの摩耗の有無を調べる。	③　著しい摩耗がないこと。
			④　油圧によってブレーキ式旋回制動装置が作動する型式のものにあっては、油漏れの有無並びに油圧ホースのひび割れその他損傷及び劣化の有無を調べる。	④　油漏れ並びに油圧ホースのひび割れその他損傷及び劣化がないこと。
	⑵　ドラムロック装置	a　爪及びドラム	①　掛かり及び外れの操作を繰り返し、操作レバー及び爪の作動の適否を調べる。	①　作動が正常であること。
			②　亀裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	②　亀裂、著しい変形及び摩耗がないこと。
		b　操作機構	①　レバーを操作し、作動の適否を調べる。	①　円滑に作動すること。
			②　損傷及び腐食の有無を調べる。	②　損傷及び腐食がないこと。
			③　ドラムロック装置が油圧によって作動する型式のものは、油漏れの有無並びに油圧ホースのひび割れその他損傷及び劣化の有無を調べる。	③　油漏れ並びに油圧ホースのひび割れその他損傷及び劣化がないこと。
		c　パウルコントロール	①　ばねのへたりの有無を調べる。	①　へたりがないこと。
			②　フリクションシューの摩耗量を調べる。	②　摩耗量が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
	⑶　ペダルロック及びレバーロック		ロックの効き具合並びに損傷及び変形の有無を調べる。	効き具合が正常で、かつ、損傷及び変形がないこと。
1.3.7 車体関係	⑴　旋回フレーム及びブラケット		①　亀裂及び変形の有無を調べる。	①　亀裂及び著しい変形がないこと。
			②　取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	②　緩み及び脱落がないこと。
	⑵　ローラーパス、ローラーブラケット、ローラー及びピン（機械式のものに限る。）		①　ローラーパス及びローラーブラケット溶接部の亀裂の有無を調べる。	①　亀裂がないこと。
			②　ローラーブラケットの取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	②　緩み及び脱落がないこと。
			③　ローラー及びローラーパス面の汚れ及び偏摩耗の有無を調べる。	③　汚れ及び偏摩耗がないこと。
			④　無負荷状態及び負荷状態で緩旋回させてローラーの回転の状態を調べる。	④　回転が円滑で、かつ、上部旋回体の揺れがないこと。
			⑤　ローラーとローラーパスの隙間を、90度間隔で４箇所について調べる。	⑤　隙間が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。